

第1学年1組 未来創造科 学習指導案

日 時 令和5年10月17日(火) 14:00~14:45

指導者 神田 彩英子

1 探究課題 「わいわいランド」を通して「人・もの・こと」との関わりのよさに気づき、それらの活動をみんなにとってよりよく、より楽しいものにするために、どうしたらよいのだろうか。

2 単元名 「わいわいランド」～身近な「人・もの・こと」との関わりのよさに気付こう～

3 授業構想と探究への手立て

本学年では、「わいわいランド(1年生と附属幼稚園そら組(年長児)との交流活動)」を未来創造科の中核として位置付け、年間を通して取り組んでいる。「わいわいランド」では、年長児との交流活動を通して自分たちの「人・もの・こと」との関わりを振り返ることを年間を通じて積み重ねて行う。そうすることで、「人・もの・こと」と関わることの楽しさや心地よさを感じたり、相手の気持ちを考えた関わりをしたり、自分の成長に気付いたりすることができるようになることを願っている。

わいわいランド①では、学校探検の一環として幼稚園の園庭に出向き、園児のいない園庭での遊びを楽しみ、今後の活動の場になる園庭に慣れ親しんだ。その際の「今度は幼稚園の友だちとも一緒に遊びたい」という思いから年長児との交流活動をスタートした。互いに関わりのもてるミニゲームなどを取り入れ、出会いの場を大切に活動を行った。

わいわいランド②では、「年長さんともっと仲良くなりたい」「もっと楽しく遊びたい」という思いや「そのために1年生ができることを考えて、年長さんにしてあげたい」という願いから、ペアを組み、ペアでの交流活動を開始した。ペアの年長児の名前や好きな遊び、好きなものなど、「もっと仲良く」「もっと楽しく」遊ぶために知りたいことや大切だと思うことを考え、関わりの中で質問したり、一緒に遊ぶ中で見つけたりした。

わいわいランド③④では、今まで園庭で遊んだ経験から、「今度は年長さんを前期課程に招待したい」「私たちの学校の楽しいところを教えてあげたい」という願いから、前期課程での遊びを計画し、年長児を招いた。これまでの関わりから「〇〇さんは虫が好きだから、中庭で虫探しをすると楽しんでくれると思うよ」「〇〇さんはいかげっこが速いから校庭へ行ってみよう」などと考え、実際に1年生だけで遊びを試してみても気が付いたことや考えたことなどから計画を再考し、交流を行った。

わいわいランド⑤では、「わいわいお楽しみ運動会」へ向けた計画や準備、運動会当日の関わりを通して、「みんなが楽しめる活動」を考え、交流する。

○「課題設定」の場面では、幼稚園の運動会の応援に行った経験から、「年長さんと一緒に運動会をしたい」という思いや「楽しい運動会をつくりたい」という願いを高め、「どんな運動会にすると年長さんも一緒に楽しめるだろうか」という探究課題を設定し、相手の立場に寄り添って活動を考えられるようにした。

○「情報収集」の場面では、「わいわいお楽しみ運動会」を計画する上で必要だと思う事柄について、これまでの1年生での学習・活動や園児との交流を振り返ったり、年長児が普段している遊びややってみようかなどをビデオレターで尋ねたりし、年長児から返ってきたビデオレターを通して情報を収集した。

○「整理・分析」の場面では、子どもたちの気づき・考えを基に、幼稚園や前期課程の運動会を思い返したり、いくつかのアイデアを比べたり実際に試したりしながら試行錯誤し、工夫して取り組む姿を目指している。また、年長児とともに「わいわいお楽しみ運動会」がよりよい活動になるように、感じたり考えたりしたことを互いに伝え合い、計画を練り上げていく。

○「まとめ・表現」の場面では、練り上げてきた計画を基に、ペアの年長児のことを考えながら「わいわいお楽しみ運動会」を行う。

わいわいランド⑥では、秋の自然に触れながらそれを使った遊びを考え、年長児が楽しめる遊びを工夫しながらお店の内容を考えて「わいわい秋まつり」を開く。

わいわいランド⑦では、自分たちの成長を振り返ったり、年長児が4月からの前期課程での生活が楽しみになるような活動を考えたりする。

本時は、わいわいランド⑤の「情報収集」から「整理・分析」への見通しをもつ時間である。前時で決めた「しょうがいぶつりレー」がより楽しめる内容になるように、アイデアを出し合ったり、比べたり、実際に試したりし、どんな工夫を取り入れるとよいかを考える。その際、「わいわいお楽しみ運動会」をどんな活動にしたいかという1年生の思いや、今まで一緒に遊んだときのペアの年長児や、実際に年長児の運動会で見た年長児の様子を思い浮かべるように声をかけたり、問いかけたりし、相手意識をもちながら考えられるようにしたい。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①様々な活動や体験の過程において、「人・もの・こと」との関わりのよさや面白さに気付いている。</p> <p>②自分たちの生活は、季節によって様子が変わることや様々な「人・もの・こと」が関わっていることなどが分かっている。</p> <p>③様々な人々に関わる際、相手や場に応じて、適切に関わっている。</p>	<p>①「人・もの・こと」との関わりの中で、自分の思いや願いをもち、課題を設定し、解決に向けて自分のできることを考えている。</p> <p>②自分の経験やこれまでの活動と比較したり、関係付けたりしながら、感じたり考えたりしている。</p> <p>③これまでの経験を基に、相手のことを思い浮かべたり、相手の立場を気にかけてりしながら、伝え方を工夫している。</p>	<p>① 「人・もの・こと」との関わりの中で、自分でできることをみつけようとしたり願いをもったりしている。</p> <p>② 自分と違う意見や考えのよさを感じながら、協働して学び合おうとしている。</p> <p>③課題解決に向けた自己の取組や学んだことを振り返り、取り組んできたことやできるようになったことの成果や自分の成長を確かめながら、探究活動に進んで取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画 (全 102 時間 本時 45/97 時間) ※他にも、5 時間は縦割り班活動

小単元名 (時数)	学習過程	主な学習活動	評価規準及び評価方法	
1 わいわいランド① ～ねんちょうさんと いっしょにあそぼう～ (21 時間)	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 学校のくらし方について知る。 2年生と一緒に学校探検をし、色々な場所を教わる。 学校の色々な場所に行ったり教職員にインタビューしたりする。 校庭や中庭などで、季節(春)の生き物や植物を見つける。 あさがおやさつまいもを育てたり、観察したりする事を通して、植物の成長の変化を見つける。 学校探検や春見つけと関連させて、幼稚園の園庭で遊び、場所を知る。 年長児と出会い、季節を感じながら幼稚園の園庭で一緒に遊ぶ。 	知・技③ 主①	・発言、行動観察、観察日記による評価
2 わいわいランド② ～ペアのねんちょうさん となかよくなるう～ (3時間)	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ペアの年長さんと出会い、年間を通して活動していくことを知る。 園庭の遊具で遊んだり、生き物や植物を観察したりして楽しむ。 	主① 知・技①	・発言、行動観察、ふりかえりによる評価
3 わいわいランド③④ ～ペアのねんちょうさん とぜんきであそぼう～ (9時間)	課題設定	<ul style="list-style-type: none"> 年長さんを前期課程に招待し、ペアでの遊びを考えて一緒に遊ぶ。 	知・技①③ 思・判・表① 主①	・発言、行動観察、ワークシートによる評価
4 わいわいランド⑤ ～わいわいおたのしみ うんどうかいをしよう～ <u>本時 (12/18 時間)</u>	情報収集 課題設定 情報収集 整理・分析 まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 夏の遊びを考えたり、準備をしたり、遊び方を工夫したりして楽しむ。 あさがおの成長を観察し、これまでの変化の様子を記録したり、気づいたことをまとめたりする。 幼稚園の運動会で参観したことをもとに、これまでの学校生活で活動したり学習したりしたことを生かして、年長さんと一緒に楽しめる運動会の種目を考え、みんなで楽しく活動をする。 	知・技② 思・判・表 ①②③ 主①②③	・発言、行動観察、ワークシートによる評価

<p>5 わいわいランド⑥ ～わいわいあきまつりを ひらこう～ (18時間)</p>	<p>情報収集</p> <p>課題設定 情報収集 整理・分析 まとめ・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校周辺で秋ならではの自然に触れ、季節の変化を感じたり、木の実や落ち葉などを見つけたりする。 ・年長さんと一緒に学校周辺の秋みつけへ出かける。 ・2年生と一緒にさつまいもを収穫し、収穫したさつまいもを焼き芋にし、味わいながら収穫への感謝の気持ちをもつ。 ・あきみつけで、年長さんと一緒に見つけた木の実や落ち葉、1年生が育てたあさがおのつるや種などを用いながら、年長さんが楽しめるように工夫しながらお店の内容を考え、あきまつりを開く。 	<p>知・技①②</p> <p>思・判・表 ①②③ 主 ①②③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、行動観察、お店、ワークシートによる評価
<p>6 わいわいランド⑦ ～まってるよ しん1年生～ (28時間)</p>	<p>情報収集</p> <p>課題設定 情報収集 整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬ならではの遊びや、冬を中心にされていた昔ながらの遊びについて知り、季節を感じながら遊びを楽しむ。 ・冬の遊びなどこれまでの学習を生かして、最後の年長さんとの交流活動を考える。また、交流活動の際には、4月からの前期課程でのくらしが楽しみになるような工夫を考える。 ・4月から新1年生を迎えるための、入学式でのお迎えの言葉や歌の計画や練習をする。 ・1年間をふりかえり、できるようになったことやがんばったことをもとに、自分の成長をまとめる。 ・自分の成長をふまえて、1年間のわいわいランドをふりかえり、楽しかったことやできるようになったことをまとめる。 	<p>知・技①②</p> <p>思・判・表 ①②③ 主 ①②③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、行動観察、ワークシートによる評価

6 本時の学習

(1) 目標

年長児のことを考えたり、1年生の思いを意識したりしながら、「わいわいお楽しみ運動会」の競技がより楽しめる内容になるように考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

主な学習場面と子どもの取組	目指す姿と取組を支える手立て
<p>1 今までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうがいぶつリレーに決まったね。 ・今日は、リレーの内容を考えよう。 ・勝っても負けても楽しいものにしたよね。 ・仲良く楽しめるようにしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に決めた競技を確認したり、「わいわいお楽しみ運動会」に向けた1年生の思いや年長児の実態などを確認したりし、本時の活動への意欲をもつことができるようにする。
<p>「しょうがいぶつリレー」が みんなにとってもっとたのしめるようなくふうを かんがえよう。</p>	
<p>2 考える内容の方向性を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを考えたらいいかわからないな。 ・くじをどんなふうにするかを考えたらいいよ。 ・コーンの置き方に工夫ができそうだよ。 ・平均台の渡り方も工夫ができそう。 ・お玉を一緒に持つとか、工夫ができそうだよ。 <p>3 工夫を考えたり試したりする。</p> <p>「くじの工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めにくじを引いて、くじによってやるかが決まるのはどうか。 <p>「コーンの置き方の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグザグに走るコースにして、年長さんと手をつないで走ったら楽しいんじゃないかな。 <p>「平均台の渡り方の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カニやカブトムシになりきって渡ると楽しそうだよ。 <p>「お玉の使い方の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お玉をペアで一緒に持ってゆっくり歩くのは、どうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・この工夫は動画に撮っておこう。 ・どう考えたらいいかわからないよ。 <p>4 考えを共有し、取り入れたい工夫点をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースを工夫するアイデアはとてもいいと思う。楽しいと思うし、年長さんにも合っているものにできそう。 ・一緒にお玉を持って歩くアイデアは、年長さんと仲良くなれそうではないかも。 ・始めにくじを引くと、勝負じゃなくて、楽しい感じになるなど思ったよ。 <p>5 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長さんのことを考えて、もっと楽しい活動になるように決めることができたよ。 ・年長さんが喜んでくれるといいな。 ・早く年長さんとお楽しみ運動会をしたいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わいわいお楽しみ運動会」に向けた1年生の思いを掲示しておくことで、競技の工夫を考える際の視点を明確にする。 ・「くじの工夫」「コーンの置き方の工夫」「平均台の渡り方の工夫」「お玉の使い方の工夫」など、児童から出たものを板書し、どんなことについて考えるとよいか全体で確認する。また、児童が工夫を考える際には、運動会に向けた思いに立ち返り、みんなにとってもっと楽しめるような工夫を考えることができるようにする。 ・必要に応じてChromebookを使って、工夫をしている場面を撮影してもよいことを伝え、児童が説明をする際に使うことができるようにする。 ・工夫が思いつかず困っている児童には、他の児童と一緒に協力して考えるように促したり、板書を確認し、どの工夫についてなら考えることができそうか問いかけたりする。 ・考えている活動が、みんなにとってもっと楽しめるような工夫になっているかどうかを問い、この視点の工夫について価値づけしていく。 ・児童がやりやすい方法で説明できるように、実際にやってみせたり、撮影した動画を見せたりして、説明することなどを選ぶことができるようにする。 <div data-bbox="842 1429 1517 1603" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価の観点（思考・判断・表現）】 年長児のことを考えたり、1年生の思いを意識したりしながら、「わいわいお楽しみ運動会」の競技がより楽しめる内容になるように考えている。 （評価方法 ワークシート、発言、行動観察）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてに対してのふりかえりを行うとともに、次の学習への思いについて振り返るように伝え、振り返る際の視点とする。

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<p>年長児のことを考えたり、1年生の思いを意識したりしながら、「わいわいお楽しみ運動会」の競技がより楽しめる内容になるように考え、試行錯誤しながら取り組んでいる。</p>	<p>年長児のことを考えたり、1年生の思いを意識したりしながら、「わいわいお楽しみ運動会」の競技がより楽しめる内容になるように考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの年長児の様子を思い出すように声をかけたり、「わいわいお楽しみ運動会」に向けた1年生の思いの掲示を確認したりすることで、どんな内容がふさわしいか考えることができるようにする。 ・板書しておいた考える内容の方向性を一緒に確認し、どの内容だったら考えられそうか問いかけたり、他の児童と一緒に考えるように促したりする。